



# 図書館だより

2023年1月号 NO. 398

北茨城市立図書館

茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16



新年あけましておめでとうございます。



令和5年の年が明けました。

今年は、卯年です。十二支の動物には、それぞれ、いろいろな意味が込められていて、「今年は〇〇年だから、□□□な年になる。」などと言われますね。

では、卯年は、どんな年なのでしょう。ちょっと調べてみました。

うさぎは、その性質が穏やかで温厚であることから、「家内安全」を象徴する意味があります。元気に飛び跳ねる姿から、「飛躍」・「向上」の年になると言われています。また、中国から伝わった十二支の語源は、草木の発生から成長の過程を十二の段階に分けて名付けたもので、四番目にあたる「卯」は、「茂」の意で、草木が地面を蔽（おお）うようになった状態を表しています。物事が大きく「成長」する時期とされ、新しい事を始めるのに最適な年と言われています。

こうしてみると、卯年の今年は、なんだかとっても良い年になりそうな気がしてきました。どんな困難も、不安も、うさぎの如く元気に、「ぴょ～ん！」と飛び越えて行きたい！皆さまにとって、素敵な一年となりますように。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

by みーやん

## 《 図書館カレンダー 》

■ = 休館日です。



★ 開館時間 : 午前9時30分～午後6時 ★

☆ 2023年1月 ☆

☆ 2月 ☆



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

## ★ YABOOKご紹介 ★



### ◇「その本は」◇

一般書 913.6 マタ 又吉 直樹／著 ヨシタケ シンスケ／著 ポプラ社

王様は、本が好きで今までたくさんの本を読んできましたが、年を取って目が悪くなり本が読めなくなりました。そこで、二人の男に「世界中を回って『めずらしい本』について知っている者を探し出し、その本の話を書いてきてわしに聞かせてほしい」と頼みました。二人の男は、世界中を旅するお金をもらって旅立ち、その一年後、旅から戻ってきました。

そして二人は、もう起き上がることもできなくなった王様にいろいろな本の一冊づつかわりばんこに話します。たくさん話を聞き、満足した王様は、二人が集めてきた本の一冊にまとめるように家来に言った次の月、亡くなりました。そのおかげで、私たちも今、こうしてこの本を読むことができています。そのエピローグで語られていたことは・・・。

「その本は」で始まる12（13？）の話の内容とは。大人気絵本作家 ヨシタケシンスケと芥川賞作家 又吉直樹による それぞれの個性あふれる13のお話（？）です。薄汚れた風の装丁・ヨシタケシンスケによるイラストも楽しめます。

by K I T E

## 図書館員のひと言



この文章を書いている今、12月中旬。ポケットに、太宰治の文庫本が1冊入っている。年末年始は、これで決まりそうな勢いである。自分でも意外である。

太宰治は、高校時代に『斜陽』と『女生徒』にやられて以来、一等特別な作家であるが、年末年始に読もうと決意したのは、これが初めてなので、今から内心ドキドキしている。アウトローな感じで、密かに愉快的気分である。

なぜ太宰治なのかは、自分でもわからない。ただ、単純明快なものより、複雑怪奇なものを、漠としているようで、我執が強く苦み走っているものを、より味わえるようになったのは確かだ。するすると読めてしまう。本当に、きれいな文章である。

2023年を、このようなかたちでスタートしようと思論んでいるが、果たして。相貌がすこし、変わってくるかもしれないが、それはそれとして面白いから良し。

By ミカゲ



☺ 新着図書の中から、職員がお薦めの本を紹介  
します ☺



## ◇「目に見えぬ詩集 詩画集」◇

一般書 911.5 谷川 俊太郎 / 詩 沙羅 / 木版画 美鷺堂 / 編・製本

美しい表紙に目を奪われ、手に取った一冊の本。

厳選された谷川俊太郎の詩に、まるで色鉛筆で描いたかのような綺麗な木版画を合わせた詩画集です。製本も、職人がお手製で丁寧に、丹精込めて作られており、本自体が芸術品のようです。

どうか、皆様も手に取ってご覧下さい。本を読めることのありがたさを感じながら・・・。

by ライム



## ◇「中村哲物語 大地をうるおし平和につくした医師」◇

児童書 289 松島 恵利子 / 著 汐文社

2019年12月、アフガニスタンで作業現場に向かう途中、スタッフ5人とともに襲われ、命を奪われた医師の中村哲さん。

終りが見えない戦争や、大干ばつに苦しむアフガニスタンは、日本から6000キロメートルほど遠く離れた国です。この地で、中村さんは35年もの間、医療支援を行いながら、命に必要な水を手に入れるため、自ら井戸を掘り、水路を作って65万人もの命を救いました。

「どの場所、どの時代でも、一番大切なのは命です」どんな時も命を守るために力を尽くした中村さんの生き方に触れることのできる一冊です。

by スモモ



## ◇「なんなんなん？」◇

児童書 E+ マック・バーネット / 文 カーソン・エリス / 絵 アーサー・ビナード / 訳 小学館

「“ぼく”は何のために生きているのかな。」おばあちゃんはぎゅっと抱きしめて、「その答えを探すんだよ、なんなんなんのためかな」「ぼく」はその答えを探す旅にでる。てくてくてく。会う人会う人、みんな教えてくれた。人それぞれ大切なものはちがう。歩き続けて、あるとき哲学者に出会う。そして“ぼく”はながい旅を終え家につく。

さて、“ぼく”のさがしていた答えはみつかったのか？

by ケドガー



## ◇「ヨルとよる」◇

児童書 Eヨル あさの ますみ / 作 よしむら めぐ / 絵 教育画劇

ヨルは黒猫。「おつきさま そっくりの おおきな め」とミリちゃんと言うけれど、なんのことだかわからないヨル。ある日、ヨルは壁に挟まっていたネズミを助けました。ネズミは、夜の町の話をして。住む世界が違う二匹はお互いの話がわからず・・・。そこで、ネズミが夜の町を見せてくれることになりました。ヨルは、生まれて初めて窓からぬけだしました。

猫のヨルとネズミの夜の町への冒険がはじまります。

※イラストもとても素敵な絵本でした。

by チッピー

## 『おはなし会』のお知らせ

### 🌲 図書館おはなし会 🌲

1月4日(水)・11日(水)・18日(水)  
午前10時～10時30分

### 🌻 エプロンひろ子さんのエプロンシアター 🌻

1月14日(土) 午前10時～10時30分

### 🌲 クーミンの英語のおはなし会 🌲

1月22日(日) 午前11時～11時30分

### 🌻 ぽっぽのおはなし会 🌻

1月25日(水) 午前10時～11時

### 🌲 メリアンさんの英語のおはなし会 🌲

1月28日(土) 午後2時～2時30分

すべて参加自由・無料です。  
場所は1階絵本コーナーです。



## ～図書館野菜づくり講座のお知らせ～

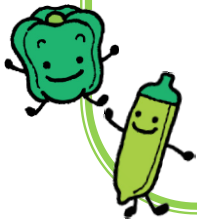
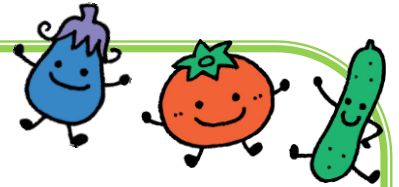
「簡単！春・夏野菜の準備」

日時 令和5年2月9日(木) 10時から11時30分  
場所 市立図書館 2階会議室  
講師 社団法人農山漁村文化協会 江崎 嵩弘氏  
定員 15名(申込み先着順)  
参加費 無料

お申込みは図書館まで。電話・FAXも可

\*申込み締切 令和4年2月5日(日)

電話 0293-42-1451 FAX 0293-43-4723



## 「図書館バードウォッチング」を開催します！

2月5日(日) 午前10時～11時30分

\* 図書館前ウォーキングロードで行います。

(雨天の場合は中止となります。)

\* お申込みは不要です。当日、図書館にお越しください。

